

## 白内障の術後に見えなくなった！？

院長 森 敏郎



図1

深く遠い暗闇の世界。そこを抜けるとはるか遠くに一条の光が見えた。視力が衰えるという絶望の淵から手術によって視力が回復した時に描かれたこの絵画はある医師によって描かれました(図1)。ある日、私を訪ねてこの先生が来院されました。年齢は70歳くらいだったでしょうか、お話を聞きますと、数年前にご自分が勤務している病院で両眼の白内障手術を受けられ、視力は回復したそうです。その後、趣味の絵画も不自由なく、描けていたのですが、最近、視力が低下したとの事でした。

時々、白内障の手術をしてもまた視力が低下するとか、何回も手術を受けたとか聞くことがありますが、確かに手術後、視力が再び低下することがあります。診察をした結果、後発白内障と診断しました。

ここで後発白内障の説明をします。図2に眼の模式図を示しますが、白内障が眼のレンズに相当する水晶体の濁りであることはご存知の通りです。視力が低下した時の治療は手術になり、外側にある透明な膜(嚢)を残し、中の濁りを取り除いて眼内レンズを嚢内に挿入します(図3)。

嚢は本来透明なのですが、炎症や、水晶体の内皮細胞増殖のため次第に濁りが出てきます。この濁りが光を遮り、再び視力低下を引き起こします。後発白内障は術後数%の患者に発生し、年齢の若い方、糖尿病やぶどう膜炎などの術後炎症が長引く患者さんに多いようです。治療は外来でレーザーによってこの濁りを取り除きます。この治療は点眼麻酔のみで行い、数分で終わるものです。一度レーザーを行うと後は必要ありません。

その先生は両眼のレーザー治療を行い、視力も回復しました。しかし彼の絵は抽象画でしたので、術前後で絵画の様子に違いはありませんでした。私に言っていた「森さん、絵は頭で描くんですよ」という言葉を思い出します。

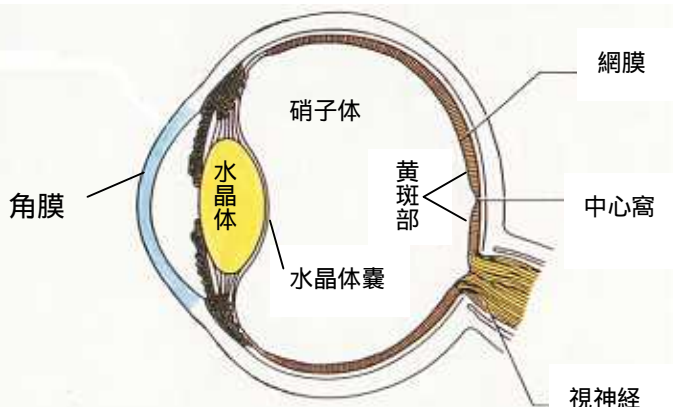


図2

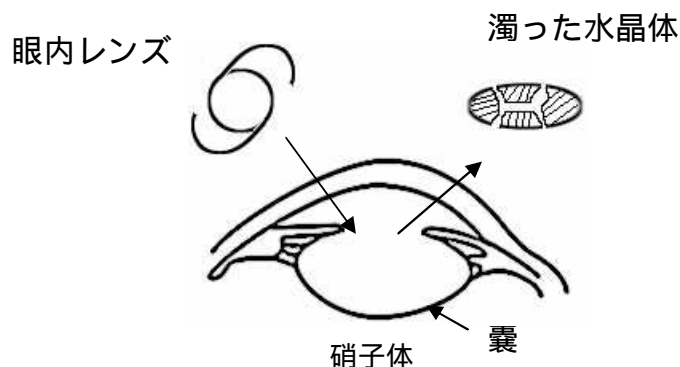


図3

# 看護便り



よく耳にする目の病気に結膜炎があります。結膜とは目の表面にある薄い透明な膜で、ここに炎症が起こる病気を結膜炎といいます。症状として充血、痒みや腫れ、眼脂(目やに)などが起こります。

結膜炎には主にアレルギー性、細菌性、ウイルス性がありこれらの中で他の人にうつる感染性の強いもの“はやり目”はウイルス性結膜炎です。したがって結膜炎になったからといって全て他の人にうつるというわけではありません。アレルギー性は通常両眼に発症します。花粉や科学物質などのアレルゲンを原因とし、痒みや充血を主症状としています。細菌性結膜炎とウイルス性結膜炎では充血が強く、眼脂(目ヤニ)が多く見られることがあり判別がつきにくいことがあります。医師の診察や迅速診断テストにより、感染の有無を調べる事ができます。いずれにせよ“いつもと違う、おかしいな”と思ったら早めに診察を受



けることが大切です。点眼薬等で症状は改善されます。プールで泳いだり旅行したり、夏を思いきり満喫するためにも瞳の健康を維持していきたいですね。



受診時には

## 毎月保険証の提示



をお願いします

保険証が変更した場合はお知らせ下さい。  
例えば...

- 被保険者(本人)が 75 歳になった家族の場合
- 被保険者(本人)が退職した場合
- 被扶養者(家族)に移動があった場合
- 関連会社に移籍した場合
- 会社の所在地に変更があった場合

保険証の変更手続中で、新しい保険証がお手元に届いていない場合でも、その旨を受付に**必ず**お知らせ下さい(^v^)

## 眼圧と緑内障の関係って??

みなさん毎回体験していると思います。目に風が当たる検査。これは眼圧といって目の中の圧力を測定しています。眼圧の正常値は 10~21mmHg です。ではなぜ眼圧が高いといけないのでしょうか?眼圧が高いと見たものを脳に伝える視神経が障害され、視野が狭くなってしまいます。そしてこれが緑内障の原因となるのです。(眼圧が低くても緑内障になる人もいます)



## ~ 職員紹介 No.2 ~ 視能訓練士 吉田秀司

「森眼科に行くと男性職員がいるが、あの人はいったい何なのだろう?」と思われることもあるかも知れませんが、私の職種は「視能訓練士」といいます。この職業は昭和 46 年に法が制定された比較的新しいものであり、厚生労働大臣の免許を受けて業を行うことができる国家資格です。元来は斜視や弱視などの矯正訓練や検査を行うために定められた職種ですが、現在はそれだけではなく眼科の検査全般を多岐にわたり行います。私も当クリニックで様々な業務を行っておりますが、院長の指導の下で更に質の高い「一流」の医療を提供できることを目指して日々精進しております。斜視、弱視の事はもちろん、眼鏡やコンタクトについての相談はもとより、世間話などでもどうぞお気軽にお声をおかけ下さい。ちなみに趣味はギター演奏なのですがそちらはいつまでたっても「三流」です。